

昨年のサービスロボット実証結果および課題

京セラコミュニケーションシステム株式会社

2022年8月4日
第1回自律移動モビリティPT

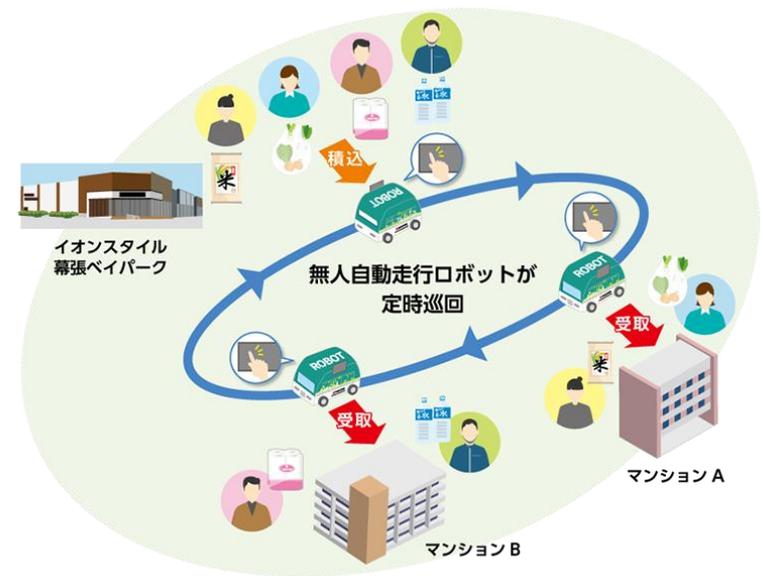
昨年度の振り返り

2021年度のサービスロボットWGによる取組みと検討事項のまとめは下記の通り

- 幕張新都心における自動走行ロボットによる配送サービス実証実験を実施
 - 実証期間:2022年3月
 - 実施場所：幕張ベイパーク周辺

<実証サービスの特徴>

- 近隣の小売店で購入した商品をお住まいのマンションまで配達
 - 小売店と配達先のマンションを定時巡回するコースで走行
 - 指定の停車位置で荷物の積込、受取を実施
 - 利用者はスマートフォンとロボット搭載のタッチパネルを活用してロッカーを操作
- 検討事項
 - 幕張という地域に応じたニーズを把握する必要がある。
 - 状況やサービスに応じたロボットの使い分けや他サービスとの連携を考える必要がある。



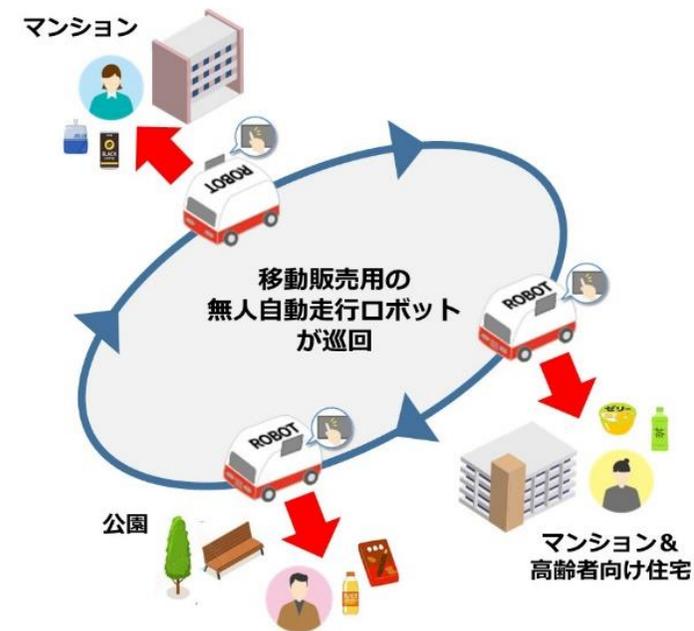
移動販売サービス実証

自動走行ロボットを活用した移動販売サービスの概要は下記の通り

- 幕張新都心における自動走行ロボットによる移動販売サービス実証実験を実施
 - 実証期間:2022年7月27日～8月10日
 - 実施場所：幕張ベイパーク周辺

<実証サービスの特徴>

- 飲料や菓子類を積み込んだロボットが走行コースを巡回
- 予め設定された場所でロボットが一定時間駐車し、商品を販売
- 利用者はロボット搭載のタッチパネルを操作し、商品を購入
- 決済は電子マネー(QRコード)に対応



<検証項目>

- ロボットを活用した移動販売サービスの受容性やニーズなどの評価
- 都市部における歩行者や自動車など混在空間に対応した自動運転動作

今年度目標案

サービスロボットを普及させるための目標と課題は下記の通り

今年度目標（案）

想定される課題（案）

サービス
ロボット

【ニーズの把握】

- 幕張新都心のニーズに応えるロボットサービス案（ユースケース）の策定、絞り込み
- 上記に基づくインフラ整備案の取り纏め（自動運転との連携を考慮）

- ユースケースの評価軸
- 自律走行システムやインフラの技術の今後の発展を見据えた方針の策定

【実証実験の実施】

- 実装に向けたユースケースの実現性検証

- 実証を実施する際の検証項目

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マイルストーン			WG #1		PT #1	PT #2	WG #2		PT #3		PT #4	WG #3
実施事項				移動販売サービス実証							サービスロボット実証	

サービス
ロボット

1. 今年度のPT目標討議
2. 今年度の方向性検討
3. 実証実験概要の検討

1. 今年度実証実験について
 - ・ 実証実験概要
2. サービスロボットのニーズ確認
実装化を見据えたユースケースの案出し、討議

1. 実証実験の進捗報告
2. ニーズを踏まえたユースケース案の比較・評価

1. 実証実験の実施内容報告
2. 来年度に向けた目標設定
3. 来年度実証に向けた検討